

主要国・新興国の

1名分料金で
2人目無料

化学物質法規制の現状・相違点と対応のポイント【LIVE配信】 【アーカイブ配信】

- ◆日時：2026年7月17日(金) 12:30～16:30
【アーカイブ配信：7/21～7/31(何度でも受講可能)】
- ◆会場：【WEB限定セミナー】※ご自宅や職場でご受講下さい。
- ◆受講料：1名につき49,500円(税込、資料付)
- ※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。
 - ・1名でお申し込みされた場合、1名につき**46,200円**
 - ・2名同時にお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で49,500円)**
 - ・ライブ配信視聴、アーカイブ配信視聴いずれも受講料は同じです。

セミナーHP <https://www.rdsc.co.jp/seminar/2607116>

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

【講師】※講師のご略歴等の詳細は弊社HPでご確認下さい

四国化成工業(株)R&Dセンター 研究企画部 谷野 穰 氏

【講座趣旨 / プログラム】 ※詳細内容は弊社HPでご確認下さい

各国規制の違いを整理し、単なる制度解説に留まらず、R&Dの意思決定に直結する規制対応の考え方を解説します。近年、化学品法規制の強化が相次いで生じているラテンアメリカ圏についても解説します。

- | | | |
|---|---|--|
| <p>1. R&D部門に求められる化学物質規制対応の全体像</p> <p>1.1 研究開発と規制対応の関係(探索研究～上市まで)</p> <p>1.2 新規化学物質登録制度の基本構造
(インベントリー/届出/審査)</p> <p>1.3 各国制度の共通要素と違い</p> <p>1.4 グローバル開発における
典型的な失敗事例(上市遅延・再試験)</p> <p>2. 主要国の新規化学物質登録制度(ハイインパクト国)</p> <p>2.1 EU(REACH)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポリマー免除/モノマー登録の考え方 ・SVHC(認可)・制限との関係 <p>2.2 アメリカ(TSCA)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PMN/LVE/LoREXの使い分け ・新規物質判定(Inventory確認) ・SNURリスク <p>2.3 中国(MEE Order 12)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常/簡易/記録届出の区分 ・データ要求の特徴(中国試験要求) <p>2.4 韓国(K-REACH)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規物質 vs 既存物質の扱い ・少量免除 | <ul style="list-style-type: none"> ・共同登録の考え方 <p>2.5 台湾(TCSCA)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少量/簡易/標準登録 ・既存化学物質登録
(第一段階登録・第二段階登録) <p>2.6 カナダ(CEPA / NSNR)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DSL/NDSLの考え方 <p>3. アジア・オセアニア新興国の制度動向</p> <p>3.1 フィリピン(PICCS / SQI)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未収載物質の扱い(PMPIN) <p>3.2 オーストラリア(AICIS)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カテゴリー分類 <p>3.3 ニュージーランド(HSNO)</p> <p>3.4 トルコ(KKDIK)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EU-REACH類似制度 ・移行期間と実務課題 <p>4. 中南米の新規化学物質規制の最新動向</p> <p>4.1 コロンビア</p> <p>4.2 チリ</p> <p>4.3 ペルー</p> <p>4.4 ブラジル</p> | <p>5. 新規化学物質登録以外でR&D部門が押さえるべき規制</p> <p>5.1 用途規制・制限
(REACH Annex XVII, TSCA SNUR等)</p> <p>5.2 懸念物質(SVHC, PBT/vPvB, PMT/vPvM, EDs)</p> <p>5.3 GHSラベル・SDS(各国差異)</p> <p>5.4 製品含有化学物質規制(RoHS, ELV等との関係)</p> <p>5.5 輸出入時の規制(PIC条約、輸出貿易管理)</p> <p>6. R&D段階での実務対応戦略</p> <p>6.1 グローバル展開を
見据えた物質設計(Regulatory by Design)</p> <p>6.2 どの国を基準に開発判断すべきか(ボトルネック戦略)</p> <p>6.3 試験計画の最適化(データの使い回し)</p> <p>6.4 外部委託(試験機関/QSAR)の使い方</p> <p>7. ケーススタディ</p> <p>7.1 少量試験から商用化への移行シナリオ</p> <p>7.2 失敗事例分析</p> <p>8. まとめ</p> <p>8.1 重要ポイントの再整理</p> <p>8.2 今後の規制トレンド
(サステナビリティ・マイクロプラスチック等)</p> <p>8.3 Q&A</p> |
|---|---|--|

本セミナーは「Zoom」を使ったWEB配信セミナーとなります。Zoomを使ったWEB配信セミナー受講の手順
 1) Zoomを使用されたことがない方は、こちら(https://zoom.us/download#client_4meeting)からミーティング用Zoomクライアントをダウンロードしてください。ブラウザ版でも受講可能です。
 2) セミナー前日までに必ず動作確認をお願いします。はじめかたについてはこちら(<https://www.rdsc.co.jp/files/instruction/zoom.pdf>)をご覧ください。
 3) 開催日直前にWEBセミナーへの招待メールをお送りいたします。セミナー開始10分前までにメールに記載されている視聴用URLよりご参加ください。
 ・セミナー資料は開催前日までにお送りいたします。無断転載、二次利用や講義の録音、録画などの行為を固く禁じます。

『化学物質規制』セミナー申込書 ※ご希望の参加形式にチェックを入れて下さい⇒ LIVE アーカイブ

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	
お名前	所属	E-Mail	
①			
②			
会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。			
		<input type="checkbox"/> Eメール	<input type="checkbox"/> 郵送

●Webセミナーの受講申込みについて●
 必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。上記のLIVEかアーカイブにチェックを入れて下さい。弊社から受付完了のご連絡をいたしまして請求書をお送りいたします。
 セミナーお申込み後、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席下さい。代理の方も見つからない場合、営業日(土日祝日を除く)で8日前まででしたらキャンセルをお受けします。

受講料の支払いに関してはHPをご覧ください。
 ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>
 個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
 ⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>



株式会社R & D支援センター

〒135-0016 東京都江東区東陽3-23-24 VORT東陽町ビル 7F
 TEL) 03-5857-4811 FAX) 03-5857-4812 URL) <http://www.rdsc.co.jp/>